

協議会だより

[平成23年度 第5号]

電気自動車

昨年12月から出雲市の公用車としては初めて「電気自動車（EV車）」が1台導入されました。低公害かつ環境にやさしいエコカーとしてPRするとともに、地域でのイベントなどへの展示用貸し出しなどに活用されます。

さて、現在一般向けの販売が行われているEV車と同タイプのガソリン車との比較を行ってみました。（下表参照）

EV車の最大のメリットは環境に関する性能です。EV車の燃料消費に伴うCO₂の排出量はガソリン車の半分程度の上に、走行中は排気ガスを出さず、エンジン音がないため極めて静かに走行します。また、燃料費もガソリン車の30%程度です。

デメリットは、ガソリン車より走行距離が短く、燃料補充に時間が掛かること



出雲市のEV車

です。

普段の生活での通勤や買い物には支障ありませんが、行楽などでの遠距離のお出かけなどには、ガソリン車と比べると不向きです。また、燃料補充についてもガソリン車は5分程度で満タンにできるのに対し、EV車は普通充電では数時間かかることがあります。

これらの問題を解決するため、全国的に「急速充電器」の整備が進んでいます。

「急速充電」とは、家庭用電源で行う「普通充電」に対し、大きな電力を利用し

短時間で充電を行う方法のことです。高出力のもので充電量0%の状態から約30分程度で80%まで充電できます。

県内東部でも整備が進んでおり、今年になって公共施設に2か所整備され、更に本年度中に3か所の整備予定があります。

急速充電器のネットワークが広がることによって、

デメリットが解決されていくこととなります。

EV車の普及促進は、地球温暖化対策、環境対策として多くの自治体で取り組まれていきます。

市役所への導入を機会に環境にやさしいEV車への興味を持たれてはいいかがでしょうか。

EV車とガソリン車の比較表

	EV車	ガソリン車 (同タイプ)
走行距離	180km	665km
消費エネルギー	110wh/km	0.0526 l / km
CO ₂ 排出量	0.0691kg/km	0.122kg/km
燃料費 (500km走行)	1,006円	3,682円

基礎データはカタログから、CO₂換算係数：(電気)0.000628、(ガソリン)2.32、燃料単価：(電気)18.3円/kWh、(ガソリン)140円/l

マグネットタイプの「省エネ温度計」を配布しています

最も寒さの厳しい季節となりました。この季節は、一年間で最もエネルギー（電気、灯油、ガスなど）を消費する季節です。

環境省は、“寒いときには着る、過度に暖房機器に頼らない”という原点に立ち返り、暖房時の室温が20℃でも快適なスタイル“WARM BIZ”（ウォームビズ）を呼びかけています。

当協議会では、省エネ対策グッズとして、室温変化がすぐ分かり、どこでも設置できるマグネットタイプの「省エネ温度計」を無料で配布しています。

これを利用し室温が20℃になるようにこまめに暖房器具を調節して、省エネに努めましょう。

※市役所本庁・各支所の担当課でお配りしています。（詳しくは、末尾事務局まで）

※数に限りがありますので、無くなり次第配布終了とさせていただきます。



もう一工夫の省エネ



外気との断熱方法として、窓ガラスの断熱シートやドアの隙間を塞ぐテープなどの活用はよく知られていますが、その上にもうひとつ工夫です。

一度暖まった室内はそう簡単には冷えません。お出かけの際、出かける直前まで暖房器具をつけておくのではなく、少し早めに電源OFFにすることをお勧めします。

これを心がければ、省エネの上に暖房器具の消し忘れも無くなることと思います。

引き続き募集しています

（地域連携による省エネ・3R活動支援助成金事業）

電力測定器の貸出

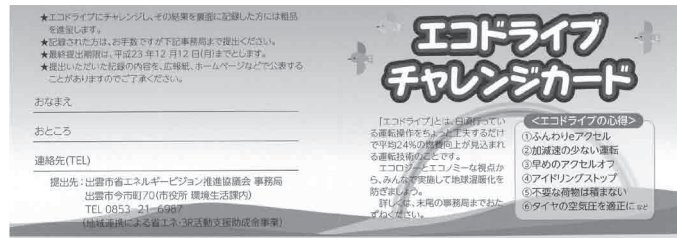
「テレビを一時間見るとどのくらい電力を使っているのだろうか?」「パソコンでインターネットを楽しむとどのくらい電気代がかかっているのだろうか?」など、日頃の素朴な疑問に答えてくれる電力測定器を無料で貸出しています。



電力測定器

エコドライブチャレンジカード

エコドライブにチャレンジし、結果を「エコドライブチャレンジカード（右図）」に記入し、カードを末尾の事務局へ提出いただいた方には、粗品をプレゼントしています。



エコドライブチャレンジカード

おたずね
連絡先

出雲市省エネルギービジョン推進協議会 事務局（出雲市今市町70 環境生活課内）
TEL 21-6987 / FAX 21-6597